



開郷



流山市立西初石中学校
校長 浦沢 雄一

学校だより 2019.10月号 学校教育目標「自立 貢献」

Tel 7 1 5 4 - 3 0 9 1 <http://www.nagareyama.ed.jp/nshatutyuu>

「学校は、勉強するところ」

学校は、あたりまえですが、「勉強するところ」です。

何を勉強するのか。「読み・書き・そろばん」のような「学問」。人の「生き方」や「社会性」。生きる源となる「体づくり」。様々な勉強をします。

では、どのような場面で勉強するのか。国語、算数、体育のような「教科学習」。特別の教科となった「道徳」や「学級での活動」や「行事」など。様々な力を横断的に活用する「総合的な学習の時間」。部活動や仲間との「毎日の暮らし」の場面も重要です。

どのように学ぶのか。流行りの言葉で言うと「主体的・対話的・深く学ぶ」のです。西初石中学校の生徒は、とても善い生徒です。課題は「主体的」に学んだり、活動したりすることです。これは、本校だけの課題ではないと感じています。発達段階から考えて、前期中等教育段階（中学校段階）の大きな課題です。初等教育段階（小学校）では、大人から多くのことを教え込まれるスタイルが多いでしょう。前期中等教育段階（中学校）では、「教えられたことを、自分なりに解釈し、内発的に自分のものとし、主体的に社会を構成していくこと」を求めたいのです。そして、後期中等教育段階（高等学校）では、「今までの学びを統合し、新たな創造を行い、次世代への善きモデルになること」が求められると思います。

そのために、本校職員は研鑽を積んでいます。「意欲を引き出す教科指導」「自分の考えを表現し、他者の考えを聴くようにする」「もっと知りたい」「新たな疑問を持つ」……。こういうことを目指した授業づくりに努力しています。 【校長】



【澤田千慧 1-1担任 道徳】

音楽科の教員です。特別の教科「道徳」は学級担任が行います。今年度から「教科」として授業を行っています。本時は「友情・信頼」についての授業です。付箋を使いながら、自分の意見を示し、少人数グループで意見交換をしながら、生徒は学びました。テーマについて、深く話し合い、考えを深めていきます。「考える道徳」「議論する道徳」が実践されています。

10/1 校内授業研究会
テーマ

「自ら進んで学習する意欲を育てる授業の工夫」



【袴田 倫 2-3担任 理科】

理科の教員です。本時は2-3で「消化と吸収 酵素のはたらきを調べる」授業を行いました。ダイコン・パイナップル・消化薬に、酵素が含まれていることを実験で確かめ、自分の考えをまとめ、表現していくことをねらいました。「課題」⇒「実験方法⇒」「予想」⇒「実験」⇒「考察」⇒「まとめ」といった流れで授業を組み立てます。酵素によって、パイナップルは肉（タンパク質）を分解し、ダイコンは炭水化物を分解することがわかりました。